

伊吹山花だより

第61号 (令和4年7月)

上野区：ユウスゲと貴重植物を守り育てる会

夏、山が一番彩られる季節の到来です。

二ホンジカの獣害に苦しむ伊吹山も
ネットで保護されたエリアでは、この夏
も様々な花が待っています。
是非、花の観察も楽しんでください。で
も、ゲートの開閉は確実に。一晩で甚大
な食害が発生してしまいます。

草姿はスゲの仲間に似、花は夕方に咲き始
めるのが名の由来。レモンイエローの花被
弁は、外側萼片と内側花弁の各3枚。三合
目ネット内は、見応えあり、甘い香りを漂
わせている。

幻想の世界誘う
霧深さ
ユウスゲ優し佇む私

ユウスゲ(夕菅)

カワラナデシコ(河原撫子)

夏風にカワラナデシコ
身動いで
春のように登山者を迎え

花が美しく草姿が可憐で子を撫でるような思いに
させるのが名の由来。葉は互生、花は淡紅色で稀
に白色。万葉集に山上憶良の秋の七草で登場。

広鐘形の大きな
花に子供が登入
れて遊んだであ
ろうが名の由来。
茎の先の枝分か
れから、白色の
花がつき内側に
赤紫色の斑点が
ある。萼片の間
が、ヤマのものは
反り返らない。

ヤマホタルブクロ
(山蛍袋)

イブキジャコウソウ
(伊吹麝香草)

伊吹山で見つかり、麝香の芳香が名の由来。茎の
先端から花序を出し、紅紫色の唇形花を段上に咲
かせる。

花序はイブキジャコウソウ
の葉が
花序の先に
出てくる

イブキボウフウ
(伊吹防風)



伊吹山で見つかり、風邪に効く漢方薬の防風なの
が名の由来。下方の葉は長い柄があり、2~3羽
状に分かれる。花序は白色の小花が密集。

キズついた指に黄輪草
浸けてみて
ちろんぷいぷい早くよくなれ

黄色い花を多数つける姿から黄輪
草に、伝説上の麒麟から麒麟草と
も。茎先の枝分かれから密に花を
つける。切り傷の薬草で山菜、保
存食にもなった。

キリンソウ
(黄輪草)

オカトラノオ
(丘虎の尾)

身近な丘に自生し、花
穂の形をトラの尾に見
立てたのが名の由来。
花は白色で、花穂が曲
がり先で反転気味。同
じ場所では花穂の形は
同じ方向に伸びる。

落葉低木のシモツケに似るので
和名が。茎は直立し、葉は互生。
茎頂が分枝し、その先端に淡紅
色の集散花序を出す。

シモツケソウ
(下野草)

千葉の清澄山で発見
されこの名に。葉身
の基部が明瞭なと
蓄が始め楕形で、開
花前に瓦状に重なる。
花色は白~薄紫色で
中央は淡紫色。苞は
ポー型に凹み花期
も斜上する。

キヨスミギボウシ(清澄擬宝珠)
「西宮の湿地・水生植物」より写真引用

根元に棕櫚の毛のようなもの
がつくのが名の由来。長い
茎に暗紫褐色の花が付き、
花柱の先が金色に目立つ。
花色が黄緑色のものを青柳
草という。

シュロソウ
(棕櫚草)

曇り空花を咲かせた
スズサイコ

ゆらゆら風にゆらゆら時に

屋間、星形の花
が閉じた姿が鈴
のように見える
のが名の由来。
茎葉は一本立ち、
黄緑褐色の蓄は
夕方から開き、
朝閉じる。

スズサイコ
(鈴柴胡)

茎に稜があり葉
は下部の1つは
大きい。黄緑色
の花を10個程
穂状につける。
長い距が上向き
に反り返る様子
が薨が舞っている
のが名の由来。

マイサギソウ
(舞薨草)

クガイソウ(九蓋草)

葉は4~8枚輪
生し、九蓋にみ
えるのが名の由
来。花は茎の先
に隙間ない10
~25cmの穂で、
花冠は淡紫色の
筒形。伊吹山は
背丈は低くイブ
キクガイソウと
も。

ウツボグサ
(鞆草)

和名は花穂が弓矢を入れる鞆に似ることから。茎
は四角形、葉は対生。茎頂に花穂をつけ、花冠は
濃紫色。花穂が夏枯れた姿から夏枯草とも。

ツリガネニンジン
(釣鐘人參)

釣鐘形の花が咲
き、根が朝鮮人
参に似るのが名
の由来。茎は直
立し、淡青紫色
の花を茎に輪生
する枝先に少し
ずつつける。葉
も輪生。

葉の並び方が櫓の薄板を閉じ合わせた扇のよう
に見えるのが名の由来。斑模様に入ったオレンジ
の花を咲かせ、日中に咲き、夕方に閉じる一日花。

ヒオウギ
(檜扇)

6

4

5

30

5 22

6 26

7 24

8 21

9 25 30

10 18

5

26 1893 11

31

38

29

11

39

1931

42

39

v (?P0φ::

aj}v9kø^Hc [È7\Ü

ÜÁ UØW-¶
5ÜÁ s K

TEL 090-3286-8191
TEL 0749-58-1323